



「一日看護体験」



広島県看護協会が企画された「一日看護体験」を平成22年7月30日に開催しました。将来、看護師を志望している高校生5名が、看護師の白衣を着て「看護の現場」を体験しました。



業務についての申し送りを
真剣に聞きました



血圧チェックの様子

緊張～っ



一日体験の感想①

看護師さんのお話や現場をみて本当に勉強になりました。最初からすごく緊張したけど、感動もあり、楽しかったし、大変だなとも思いました。全く役に立つことはできなかったけど、自分の勉強にすごくなりました。患者にも色々な人がいらしゃって、その人、その人に合わせて対応していく力などが必要なんだということがわかりました。今日体験をさせていただいて、もっとおばあちゃんを大事にしたいと素直に思いました。また命の大切さがまた少しわかった気がします。私が知らない所で色んな人が頑張っていて自分がものすごく恥ずかしくなりました。本当に良い人がたくさんいてお話もたくさん聞かさせていただいて本当にありがとうございました。これから後悔しないように自分が納得するまで頑張って看護師さんになりたいと思います。(原文)

一日体験の感想②

どんな時でも笑顔を忘れず、患者さんに対して他人とかいうのではなく、家族のように接していたことに気づきました。患者さんだけでなく、看護師さん同士でも同じでした。それだけではなく、自分の知っていること以上の何か大切なものを学びました。本当に今回の体験をさせて頂いて感謝の気持ちでいっぱいです。反省することは体験をする中でたくさんありました。でもとても自分の為になって良かったです。やりがいがあり、他の職業では感じられないものがあると心に深く刻まれました。(原文)

実習担当看護師より

初めは緊張されていたようですが、時間の経過とともに表情も柔らかくなっていきました。体験の中で「看護師になりたい」という気持ちが強くなってもらえたらとても嬉しく思います。看護師の仕事はとてもやりがいがあり、患者さんから学ぶ事も多くあります。一生続けていける仕事ですので、夢ではなく実現に向けて、今できること(勉強)を頑張ってください。